



第77期

大塔興業株式会社 環境経営レポート

Daito Kogyo Environmental Report

令和5年10月1日～令和6年9月30日

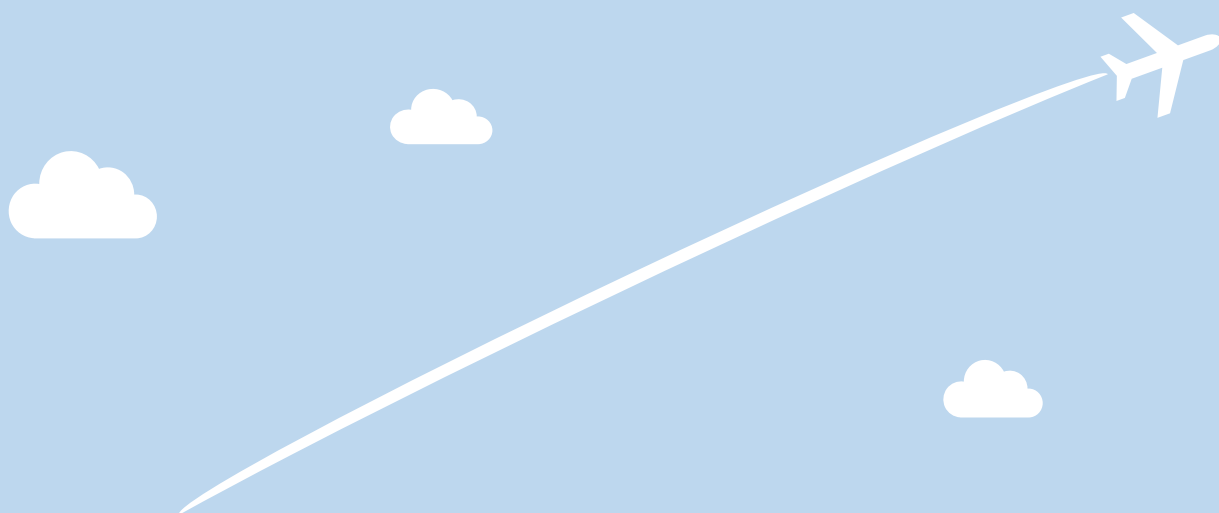


令和6年11月11日 発行



目次

1. 大塔興業株式会社環境経営方針	3
2. 事業の概要	4
3. 環境経営システム組織図	6
4. 中長期環境経営目標（全社集計値）	9
5. 環境経営活動計画	10
6. 環境経営目標及び実績と評価（全社）	11
7. 環境経営活動計画と評価、次年度の取り組み	12
8. 教育研修活動	13
9. 参考資料	14
10. 環境関連法規等の遵守状況	15
11. 代表者総括	16





1. 大塔興業株式会社環境経営方針

基本理念

当社は循環型社会の構築を前提とし、有限の骨材資源を無駄にすることなく有効活用し、自然と調和した快適な地域社会を目指します。

また、化石燃料消費を主要因とした地球温暖化対策のため、温室効果ガスの排出抑制等、骨材生産の事業活動を通じて、環境への負荷低減に取り組みます。

行動指針

当社では基本理念に沿った環境経営システムを構築し、従業員全員の理解のもと、継続的に改善活動に取り組んで参ります。

- 1) 従業員全員が地球環境の現況について学び、危機感を共有します。
- 2) 温室効果ガスの排出削減について各自が出来ることを確認し実践します。
- 3) CO2排出量低減を念頭に、プラント・重機等の設備改善を推進します。
- 4) 重機および輸送車両のアイドリングストップで燃料量を削減します。
- 5) 3R (Reduce/Reuse/Recycle)活動の社内展開に努めます。
- 6) 地域への環境影響を常に考慮し、環境関連法規・条例を遵守します。
- 7) この環境方針を従業員全員に周知するとともに、広く一般に公開します。

令和1年 11月7日

大塔興業株式会社 代表取締役社長

塔野 功一郎





2. 事業の概要

1) 名称および代表者名

大塔興業株式会社
代表取締役社長 塔野 功一郎

2) 所在地

本社 山口県宇部市大字善和字下柿ノ木原789番地の6
川上碎石場 山口県宇部市大字川上字白石137-1
嘉川碎石場 山口県山口市嘉川字保手尾3954番地
リサイクル工場 山口県宇部市大字川上字太郎田142-1
リペアセンター 山口県宇部市大字川上字太郎田142-1

3) 環境管理責任者 堀田 修司 TEL : 0836-62-1820
E-mail : info@daito-kogyo.com

環境管理担当者 横山 猛、三浦 翠 同上

4) 事業内容

生産販売業 : 碎石、砂、再生碎石他
産業廃棄物処分業 : 中間処理 (破碎) - コンクリートくず、がれき類他
産業廃棄物収集運搬業 : コンクリートくず、がれき類、廃プラ、金属くず他

5) 事業規模

創立 昭和25年3月
資本金 1,000万円

	H27年10月1日～ H28年9月30日	H28年10月1日～ H29年9月30日	H29年10月1日～ H30年9月30日	H30年10月1日～ R1年9月30日	R1年10月1日～ R2年9月30日
売上高	480百万円	354百万円	346百万円	432百万円	399百万円
収集運搬量 (産廃)	7,487ton	5,859ton	2,249ton	2,981ton	5,026ton
碎石出荷量	75,122ton	58,929ton	67,911ton	72,690ton	66,167ton
廃棄物受入量	62,410ton	47,826ton	52,553ton	73,351ton	67,804ton
再生材出荷量	58,895ton	38,857ton	37,992ton	52,152ton	51,026ton
従業員数	26人	26人	27人	27人	27人
破碎機数	7基	7基	7基	7基	7基
収集運搬車両数	8台	8台	8台	7台	9台
重機等	15台	15台	15台	15台	15台
事務所総床面積	450㎡	450㎡	450㎡	450㎡	450㎡

	R2年10月1日～ R3年9月30日	R3年10月1日～ R4年9月30日	R4年10月1日～ R5年9月30日	R5年10月1日～ R6年9月30日
売上高	410百万円	445百万円	561百万円	664百万円
収集運搬量 (産廃)	5,281ton	18,013ton	11,857ton	15,922ton
碎石出荷量	67,200ton	64,865ton	68,047ton	76,783ton
廃棄物受入量	48,239ton	58,735ton	65,936ton	66,282ton
再生材出荷量	52,468ton	45,459ton	43,261ton	61,845ton
従業員数	27人	29人	32人	36人
破碎機数	7基	7基	7基	7基
収集運搬車両数	9台	12台	13台	13台
重機等	15台	15台	15台	15台
事務所総床面積	450㎡	450㎡	450㎡	450㎡

6) 事業年度 10月1日～翌年9月30日

7) 許可内容

産業廃棄物収集運搬業許可（保管面積676㎡、保管上限625㎡、高さ3m）

産業廃棄物収集運搬業				許可項目（事業の範囲）																		
都道府県及び 政令都市	積替保管		許可の年月日 及び有効期限	許可番号	燃 え 殻	廃 プ ラ ス チ ッ ク 類	ゴ ム く ず	金 属 く ず	鉛 さ い	が れ き 類	紙 く ず	木 く ず	織 維 く ず	汚 泥	廃 油	廃 酸	廃 アル カリ	動 植 物 性 残 渣	ば い じ ん	1 3 号 廃 棄 物	種 類 ） （ 等 破 砕 物 を 除 く 。 以 上 3 種 類 ）	ガ ラ ス く ず ・ コ ン ク リ ー ト く ず ・ が れ き 類 を 除 く 。 （ 自 動 車 等 破 砕 物 を 除 く 。 以 上 3 種 類 ）
	有	無																				
山口県	●		平成30年11月16日 令和7年11月15日	第03516060875号	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

（これらは、石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物及び水銀含有ばいじん等を含み、

特別管理産業廃棄物であるものを除く。）以上17種類

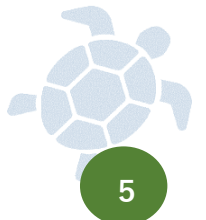
産業廃棄物処分業許可（処理能力880t/日・8時間） 設置場所：山口県宇部市大字川上字東大日127番地1

産業廃棄物処分業				許可項目（事業の範囲）		
都道府県及び 政令都市	保管場所		許可の年月日 及び有効期限	許可番号	が れ き 類	リ ガ ラ ス く ず ・ コ ン ク リ ー ト く ず ・ が れ き 類 を 除 く 。 （ 自 動 車 等 破 砕 物 を 除 く 。 以 上 2 種 類 ）
	有	無				
山口県	●		平成30年11月16日 令和7年11月15日	第03526060875号	●	●

（これらは、特別管理産業廃棄物であるものを除く。）以上2種類

8) 産業廃棄物収集運搬車両一覧

車両形式	車両番号	積載量
小型ダンプ	山口100 あ1869	2.00t
普通ダンプ	山口100 あ5767	3.55t
平ボディトラック	山口11 ま3046	2.75t
大型ダンプ	山口130 あ2887	9.30t
大型ダンプ	山口130 あ2890	9.00t
大型ダンプ	山口130 あ2891	9.00t
大型ダンプ	山口130 あ2892	9.00t
大型ダンプ	山口130 あ2893	9.00t
大型ダンプ	山口130 い2894	9.00t
大型ダンプ	山口130 い2895	9.00t
大型ダンプ	山口130 い2896	9.00t
大型ダンプ	山口130 あ2897	9.20t
大型ダンプ	山口130 あ2898	9.00t





川上碎石場



●生産能力 月産25,000t

●主要機械明細

名称	仕様	数量
ジョークラッシャー	40'×32'	1台
コーンクラッシャー	オムニ937	1台
振動フルイ		2台
ベルトコンベア		8基
タイヤショベル	3.4m ³	1台
パワーショベル	0.8m ³ ~1.9m ³	3台
原石運搬ダンプトラック	25 t	2台

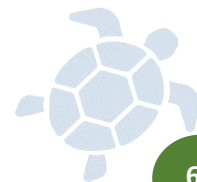
嘉川碎石場



●生産能力 月産20,000t

●主要機械明細

名称	仕様	数量
ジョークラッシャー	36'×24'	1台
コーンクラッシャー	オムニ1144	1台
振動フルイ		5台
ベルトコンベア		15基
タイヤショベル	3.4m ³ 3.6m ³	2台
パワーショベル	0.8m ³	1台
散水車		1台





リサイクル工場

- 生産能力 月産22,000t
- 固定式破碎機（中間処理施設）
- 主要機械明細

名称	仕様	数量
ジョークラッシャー	36'×24'	1台
インペラブレーカー	KP55N	1台
ベルトコンベア		13基
磁選機		3台
振動フルイ		2台
風力選別機		1台
タイヤショベル	3.4㎡ 3.6㎡	2台
パワーショベル	0.8㎡ 0.9㎡	2台
ブルドーザ	D39	1台
小割機	0.9㎡	2台
移動式選別機		2台
散水車		1台



ジョークラッシャー



インペラブレーカ

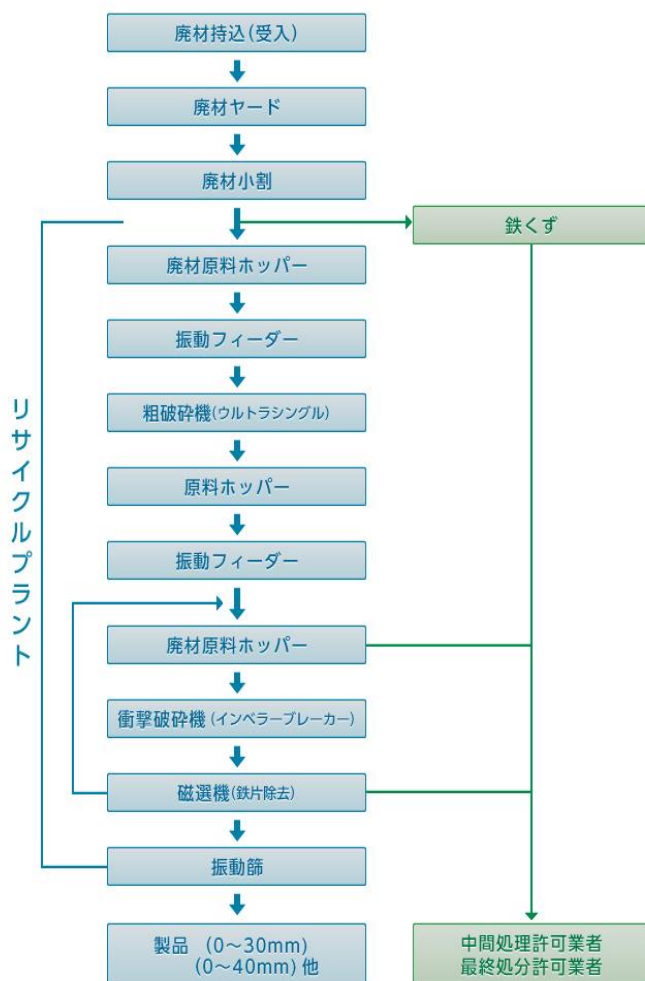


振動篩～ベルトコンベヤ



製品ヤード

●産廃処理フロー



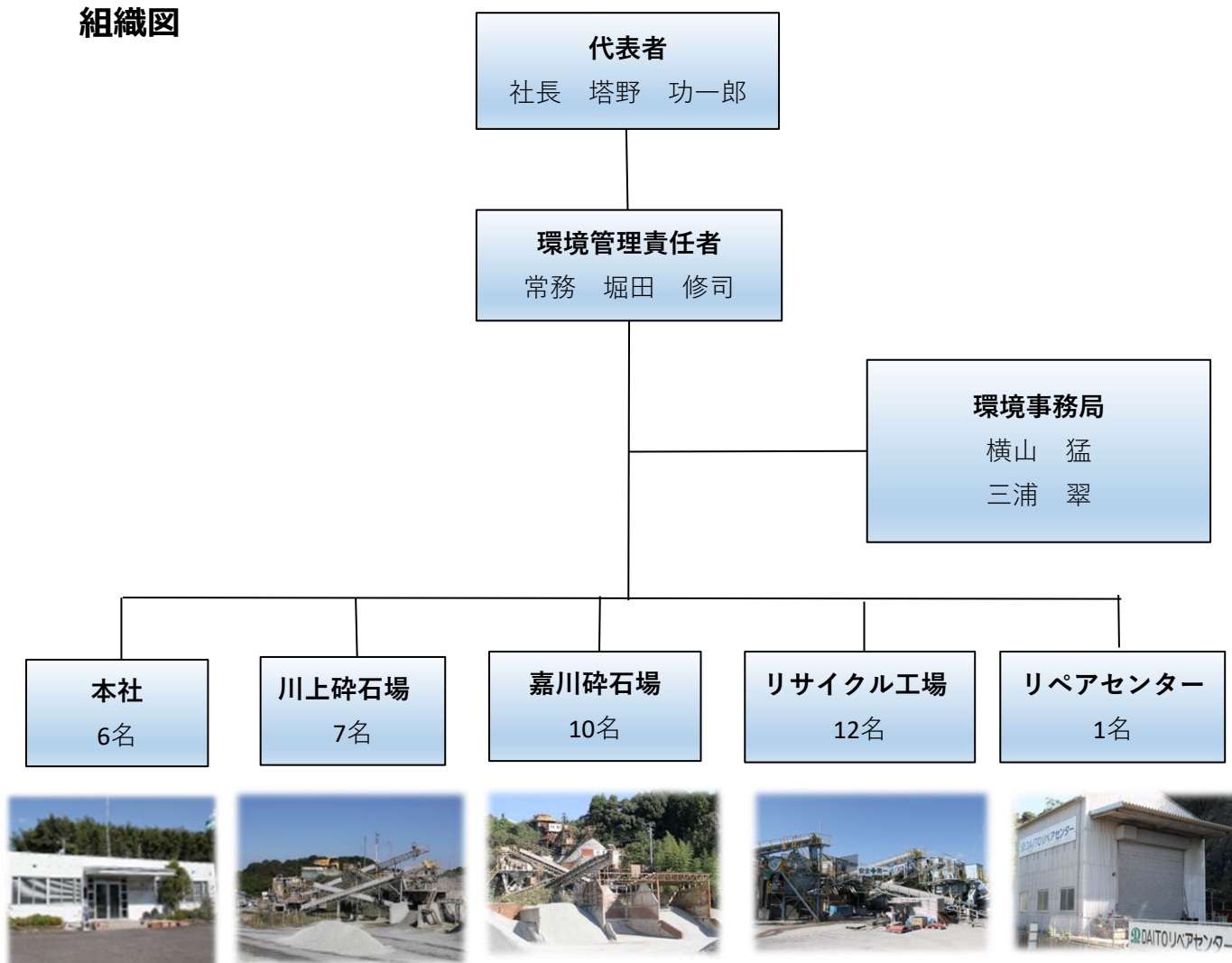


3. 環境経営システム組織図

認証・登録の対象範囲

- (1)対象事業所 当社全施設
- (2)対象事業活動 当社全活動（生産販売業、産業廃棄物処分業、産業廃棄物収集運搬業）

組織図



所属	役割・責任・権限・使命
代表者	全体の統括、環境方針の設定、全体の評価と見直し
環境管理責任者	全体の把握／環境経営システムを構築し、運用し、その状況を社長に報告する
環境事務局	E A 2 1 文書及び記録類の作成・維持・管理
本社総務	電力、ガス、水、燃料（ガソリン、軽油、灯油）の消費量管理
本社	コピー用紙等事務用品の消費量管理



4.

中長期環境経営目標（全社集計値）

環境経営目標	単位	基準年度	77期R5/10~R6/9			中期目標		
		76期 R4/10~R5/9	目標	実績	判定	78期 R6/10~R7/9	79期 R7/10~R8/9	80期 R8/10~R9/9
目標項目1~4の削減目標率	—	—	△0.5%			△0.5%	△1.0%	△1.0%
二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2	1,344,199	1,337,478	1,582,311	—	1,337,478	1,330,757	1,330,757
	kg-CO2 /百万円	2,397	2,385	2,383	○	2,385	2,373	2,373
1 電力使用量の削減	kWh	448,066	445,826	540,532	—	445,826	443,586	443,586
	kWh /百万円	799	795	814	X	795	791	791
2-1 軽油使用量の削減	ℓ	398,157	396,166	484,664	—	396,166	394,175	394,175
	ℓ /百万円	710	706	730	X	706	703	703
2-2 ガリン使用量の削減	ℓ	10262.3	10211.0	11805.0	—	10211.0	10159.7	10159.7
	ℓ /百万円	18.3	18.2	17.8	○	18.2	18.1	18.1
2-3 灯油使用量の削減	ℓ	672.94	669.58	557.00	○	669.58	666.21	666.21
	ℓ /百万円	1.20	1.19	0.84	—	1.19	1.19	1.19
2-4 液化石油ガス (LPG)の削減	kg	1,547.76	1,540.03	1,576.80	X	1,540.03	1,532.29	1,532.29
	kg /百万円	2.76	2.75	2.37	—	2.75	2.73	2.73
3 水使用量の削減	m³	325.25	323.63	386.50	—	323.63	322.00	322.00
	m³ /百万円	0.58	0.58	0.58	○	0.58	0.57	0.57
4 一般廃棄物の削減	kg	398.16	396.17	264.00	○	396.17	394.18	394.18
	kg /百万円	0.71	0.71	0.40	—	0.71	0.70	0.70
5 家庭内エコ目標	達成 件数	1件/戸・年	1件/戸・年	1件/戸・年	○	1件/戸・年	1件/戸・年	1件/戸・年
6 地域清掃活動への 取り組み	達成 件数	1件/年	1件/年	1件/年	○	1件/年	1件/年	1件/年
7 優良認定を維持	—	情報更新を 徹底	情報更新の 徹底	情報更新の 徹底	○	情報更新の徹底		
8 リサイクル製品の品質維持	—	品質管理を 徹底	品質管理の 徹底	品質管理の 徹底	○	品質管理の徹底		

- ・ CO2排出係数は、中国電力：0.552kg-CO2/kWh(令和4年度・調整後排出係数)を使用。
- ・ 第76期（基準年）売上高 560.784百万円
- ・ 化学物質の使用量はないため、目標に掲げず、適正に管理する。



環境経営計画

(1)電気使用量の削減

- ・ 破碎設備の無負荷時間を極力短縮する。
- ・ コンベヤの摺動抵抗低減のため、摺動部のグリース給脂を定期的実施する。
- ・ 無人箇所では蛍光灯を消す。

(2)化石燃料使用量の削減

- ・ アイドリングストップを徹底する。
- ・ エコドライブを遵守する。
- ・ 特自検の確実な実施により、フィルター等の定期的交換。
- ・ 重機、社有車の交換時は燃費向上を考慮し導入する。 **(グリーン購入法遵守)**

(3)水使用量の削減

- ・ 水道水の蛇口上に節水ポスターを掲示し、意識向上を図る。

(4)一般廃棄物の削減

- ・ コピー用紙の低減のため、両面コピーを遵守する。
- ・ ダンボール、新聞紙、雑誌等は回収業者に提供する。
- ・ 文房具、洗剤等は詰替え商品を優先し購入する。 **(グリーン購入法遵守)**

(5)地域貢献活動と家庭内エコ目標

- ・ 会社周辺道路の清掃活動実施。(1回以上/月)
- ・ 定期的な水路清掃の実施。(1回以上/年)
- ・ 自治会清掃への参加。(1回以上/年)
- ・ 従業員ののエコ意識高揚のため、各人の家庭内エコ目標を掲げる。
(1件以上/年)

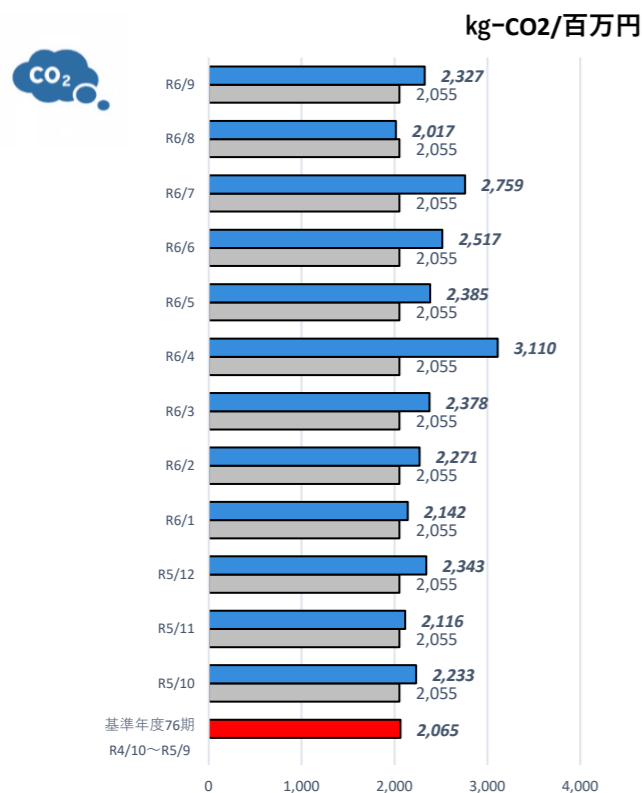
(6)経営における課題とチャンス

- ・ さんばいくんの情報を確実に更新する。
- ・ 毎年製品分析を行い、リサイクル認定基準適合を確認する。

6. 環境経営目標及び実績と評価 (全社合計)

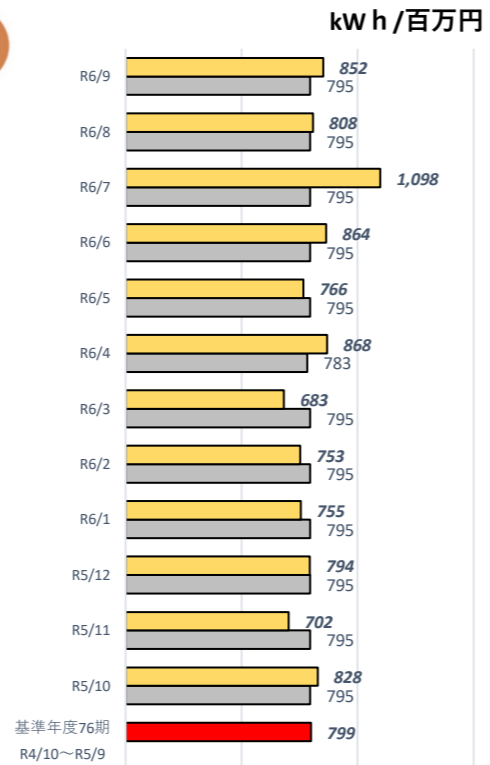
二酸化炭素排出量の削減 (全社合計/月)

2,383	判定	実績 ▼0.08%
2,385	○	目標 R5/10~R6/9 ▼0.5%
2,397		基準年度R4/10~R5/9



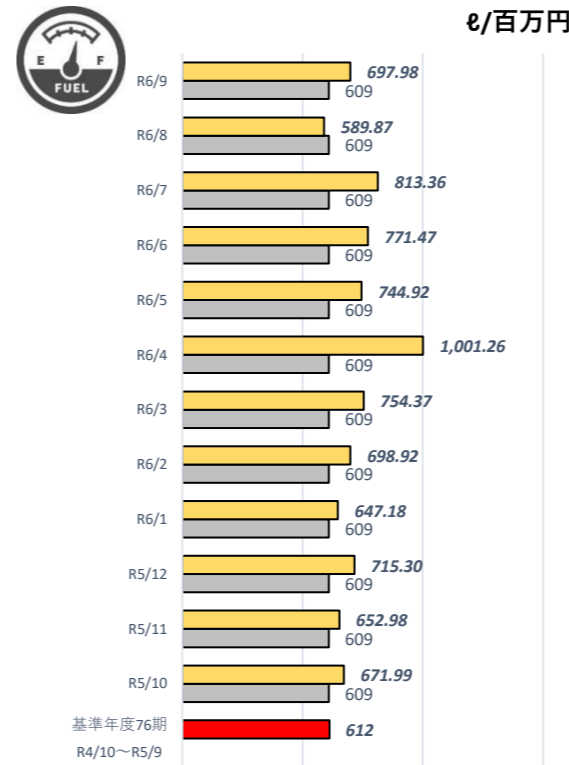
電力使用量の削減 (全社合計/月)

814	判定	実績 2.4%増
795	×	目標 R5/10~R6/9 ▼0.5%
799		基準年度R4/10~R5/9



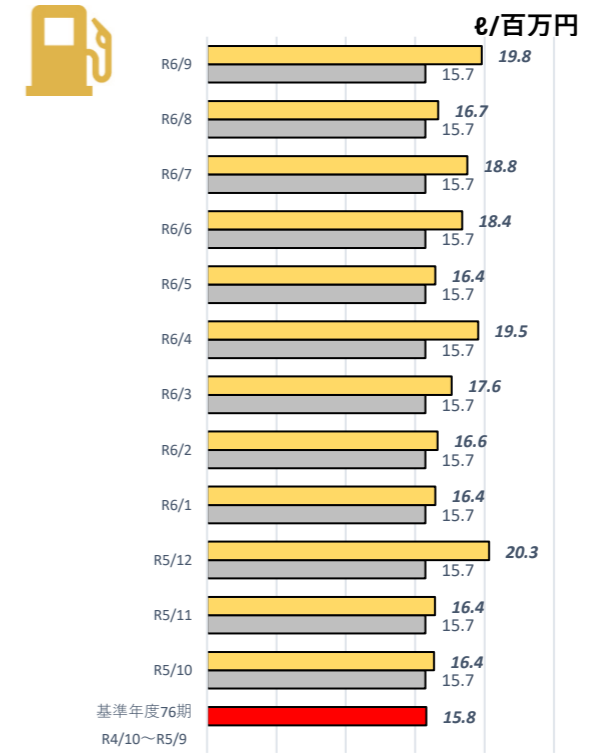
軽油使用量の削減 (全社合計/月)

730	判定	実績 3.3%増
706	×	目標 R5/10~R6/9 ▼0.5%
710		基準年度R4/10~R5/9



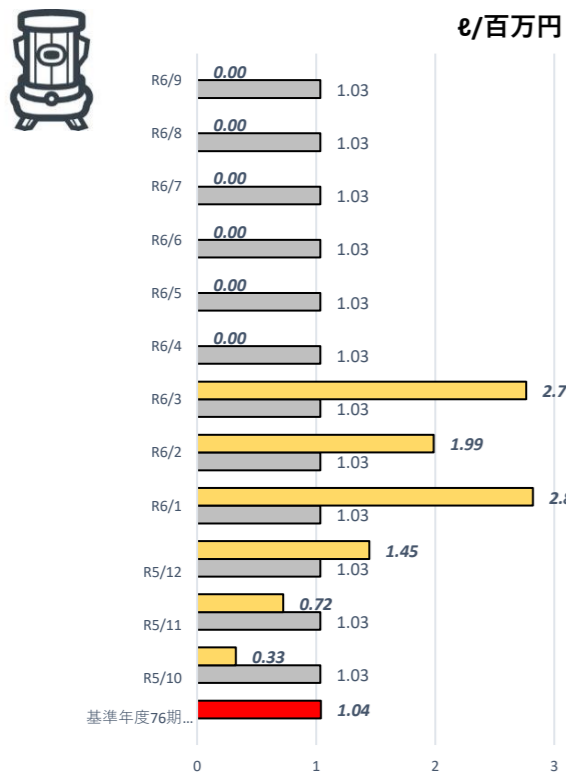
ガソリン使用量の削減 (全社合計/月)

17.8	判定	実績 ▼2.2%
18.2	○	目標 R5/10~R6/9 ▼0.5%
18.3		基準年度R4/10~R5/9



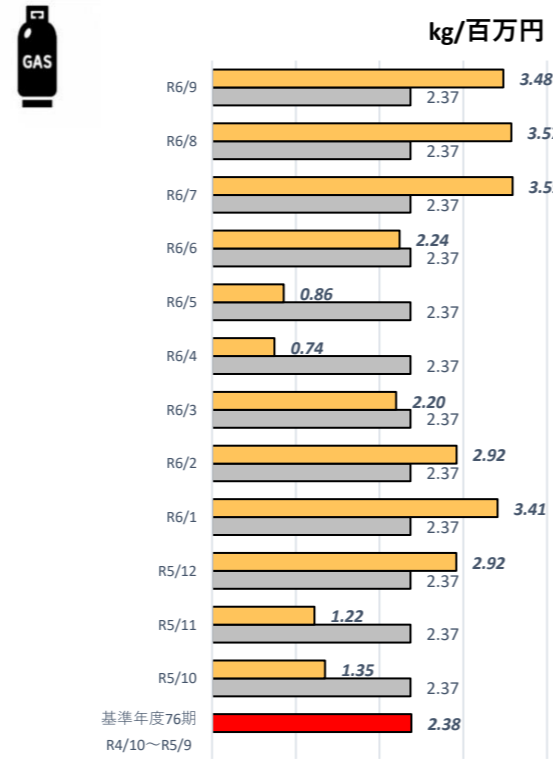
灯油使用量の削減 (全社合計/月)

0.84	判定	実績 ▼30%
1.19	○	目標 R5/10~R6/9 ▼0.5%
1.20		基準年度R4/10~R5/9



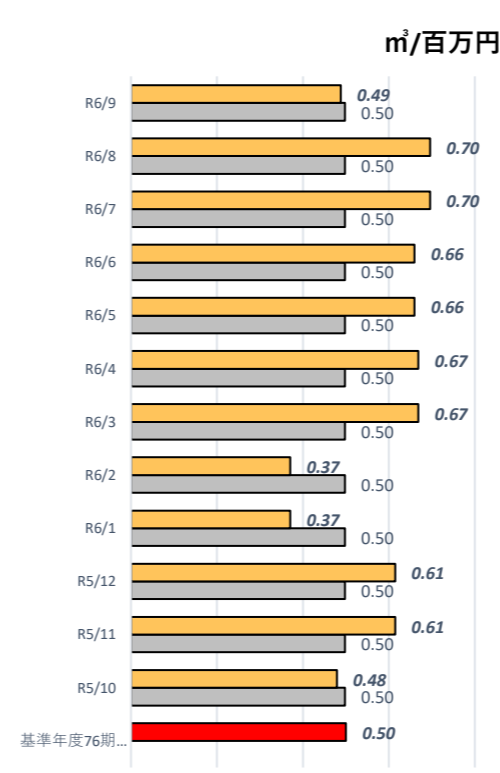
液化石油ガス (LPG)使用量の削減 (全社合計/月)

2.37	判定	実績 ▼14%
2.75	○	目標 R5/10~R6/9 ▼0.5%
2.76		基準年度R4/10~R5/9



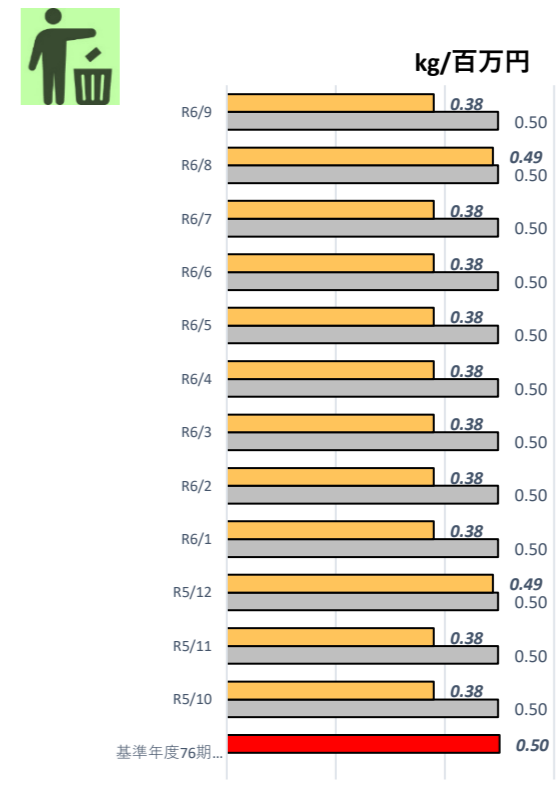
水使用量の削減 (全社合計/月)

0.58	判定	実績 ±0%
0.58	○	目標 R5/10~R6/9 ▼0.5%
0.58		基準年度R4/10~R5/9



一般廃棄物の削減 (全社合計/月)

0.40	判定	実績 ▼44%
0.71	○	目標 R5/10~R6/9 ▼0.5%
0.71		基準年度R4/10~R5/9





次年度の環境経営目標は、前述「中期環境経営計画」の78期の通りとする



電力使用量の削減

基準値の見直しをしましたが、目標を完全にはクリア出来なかった。
電力量の見える化の推進（各工場）次年度も引続き継続していく。



軽油使用量の削減

基準値の見直しをしました。目標値をクリア出来なかった。次年度は大型車入れ替えありますので個々での運転の仕方も見直しを徹底する。



ガソリン使用量の削減

基準値の見直しをしました。目標値を達成できた。



灯油使用量の削減

特に冬場の暖房目的に、灯油使用量が基準年を上回ってはいるが年間を通しては目標値を達成出来た。



液化石油ガス(LPG)使用量の削減

夏場、冬場でのLPGガス消費量が増加していますが、目標値を達成出来た。



水使用量の削減

大型車の洗車等で使用料は増えてますが、引き続き節水活動を継続します。



一般廃棄物の削減

全体的に前と比べて改善が来ています。引き続き活動を継続します。



家庭内エコ目標の達成

エコ目標を1件/戸・年設定し、実践した。
各人エコに対しての意識が高揚しています。引き続き活動を継続します。



地域清掃活動への取り組み

例年通り工場回りの道路、水路清掃を実施しています。自治会主催の清掃活動や花壇の苗植えにも参加し地域美化の貢献をしています。引き続き活動を継続します。

優良認定の維持

さんばいくんに公表している情報を速やかに更新し、優良認定基準を遵守しました。
今後も情報管理を徹底します。

リサイクル製品の品質維持

リサイクル製品を品目ごとに分析を行い、県の認定基準適合を確認しました。
今後も毎年分析を実施し、品質管理を徹底します。





緊急事態の想定訓練 (6月15日)

・環境上の緊急事態（オイル流出を想定）の訓練実施。作成して社内報を現場説明用とした。



BIG TOWER TIMES 第2号 (6月) 2017年6月22日発行

重機・破砕機からの油流出時の緊急対応について
 エコプラザ21では環境への悪影響を低減し緊急事態時にも対応しています。各工場で流出経路は異なるため、対応方法の事前検討が必要です。

破砕機から油流出
 給油ホースの損傷、ホース脱落等により発生

①ポンプ電源オフ
 ・操作盤のポンプスイッチをオフ
 ・7070は給油圧が低下して停止

②土嚢にて流出防止
 ・砂を詰めた土嚢を機脚に保管のこと

③吸着マットにて回収
 ・オイルが木面に流入した場合
 吸着マットでオイル回収

④緊急連絡網により通達
 (別添1. 緊急事態連絡体制(F2))

⑤住民への説明対応
 地域自治体の住民へ十分な説明が必要です。

⑥監視
 河川等への流出防止が無くならない限り監視が必要です。

緊急対応備品の保管管理 土嚢は、吸着マット他の保管管理。

参考資料

家庭内エコ目標

従業員全員のエコ活動への意識高揚を目的に、家庭においても各人のエコ目標を宣言し年間を通じて自己評価することとした。(表1)

宇部インターと隣接する市道を毎月1回スーパーにより清掃。

(写真1)

リペアセンター回り公道清掃

(写真2)

公道周辺の空き缶等回収

空き缶等の回収清掃実施 (写真3)

写真3



表1

エコ目標 (第70期)		自己評価	
本社	会長	エコ活動の推進に力を入れることとする。	
	社長	エコ活動の推進に力を入れることとする。	
	取締役	エコ活動の推進に力を入れることとする。	
	役員	エコ活動の推進に力を入れることとする。	
リペア	部長	エコ活動の推進に力を入れることとする。	
	課長	エコ活動の推進に力を入れることとする。	
川上工場	部長	エコ活動の推進に力を入れることとする。	
	課長	エコ活動の推進に力を入れることとする。	
	主任	エコ活動の推進に力を入れることとする。	
	班長	エコ活動の推進に力を入れることとする。	
リサイクル工場	部長	エコ活動の推進に力を入れることとする。	
	課長	エコ活動の推進に力を入れることとする。	
	主任	エコ活動の推進に力を入れることとする。	
	班長	エコ活動の推進に力を入れることとする。	
東川工場	部長	エコ活動の推進に力を入れることとする。	
	課長	エコ活動の推進に力を入れることとする。	
	主任	エコ活動の推進に力を入れることとする。	
	班長	エコ活動の推進に力を入れることとする。	

写真1



写真2





10. 環境関連法規の遵守状況

環境関連法規等の遵守状況は下表の通りで、違反はありません。

なお、関係当局よりの違反等の指摘、及び近隣苦情並びに訴訟等はありません。

法令の名称	法令等の遵守すべき内容	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産業廃棄物の処理、産業廃棄物処理業、産業廃棄物処理施設、産業廃棄物管理票、雑則等	◎
大気汚染防止法	一般粉塵発生施設に関する規制	◎
騒音規制法及び振動規制法	特定施設に関する騒音及び振動に関する規制	◎
採石法	採石業者の登録、採石施設標識の掲示等	◎
宇部・山陽小野田及び 山口市'消防組合火災予防条例	変電設備の構造、管理基準 溶接、ガス切断作業中の防火管理	◎
消防法	設備基準（消火器、火災報知設備） 及び総合点検等	◎
労働安全衛生法、事務所衛生基準規則	事務所の作業環境に関する規則	◎



評価及び見直しの実施年月日		令和6年 10月 31日
評価者名（代表者名）		塔野 功一郎
評価及び見直しの参加者		環境管理責任者 堀田
提出した情報（資料等）		①環境経営活動レポート ②環境経営方針 ③環境経営活動計画の実施状況 ④環境関連法規等の遵守状況のチェック結果 ⑤外部からの苦情等の受付結果 ⑥緊急事態の想定結果・訓練結果 ⑦その他（ポスター掲示に関する手順書他）
評価	環境経営システムが有効に機能しているか	・社内5部門のエネルギー消費量は、EA21に取り組むことで月別消費推移が統計的（グラフ化）に明確化した。引き続きこのデータを活用し経営効率化に寄与させていきたい。
	環境への取組は適切に実施されているか	・EA21の認証取得により、従業員全員の環境改善取組への意識向上が図れた。
見直し（変更の必要性・指示）	環境方針変更の必要性	・現時点で変更の必要性は無い。
	環境目標変更の必要性	・基準値を見直し、原単価に設定しました。目標、実績を比べてみて売上には左右されない項目もある事が分かったので、目標設定の検討が必要です。目標達成してない項目もありますが、全体としては目標値をクリアしています。引き続き継続していく。
	環境経営計画変更の必要性	・現時点で変更の必要性は無い。
	環境経営システム等変更の必要性	・現時点で変更の必要性は無い。
	次年度に向けての指示	・重機、大型車など軽油の使用量に対して全社へ再度徹底させた。